

B&G体験クルーズで感じたこと

沖吉 諒

僕がB&G体験クルーズで感じたことは、船内や小笠原で活動していると、知らないうちに友達と仲良くなったり、もっと仲良くなったりなど、友達とのきずながとても深まるなど、とても感じました。小笠原でのライフセービングの活動では、助け側のしんださが分かったので、



体験クルーズで学んだこと

海司 優

事故にならないように、自分の命は自分で守らないといけないなど、改めて思いました。そして、海のことについては、とてもきれいな海で、海洋生物も豊かそうでした。僕の班は、イルカが見えなかったけど、イルカが小笠原で見えるというのがとてすごいと思ったし、イルカが見えるのが、海がキレイで豊かという印象が思い浮かびます。鳥島では、アホウドリがたくさん見られて、ヒナもいました。

最後に、小笠原諸島は世界自然遺産に登録されて、すごい事ですが、外来種のグリーンアンノールがたくさん小笠原にいます。グリーンアンノールのせいで、小笠原にしかない昆虫も激減しています。逆に、アホウドリは、一度は絶滅の危機になりましたが、天然記念物・国際保護鳥に指定されて、手厚く保護された結果、少しずつ数が増えてきているので、難しいかもしれないけど、工夫したら元通りになる可能性もあります。だから、日本や世界中の生き物や自然などを大切にして、守ってあげたら、体験クルーズを通して思いました。

私は、この体験クルーズに参加して、本当に良かったと思っています。このクルーズで、私はたくさん学ばせていただきました。まず、海のことです。海にも「海洋基本法」という法律があったことや、絶滅しそうな鳥、アホウドリの復活や、そのアホウドリは今、人間の捨てたゴミを食べてしまうなど、人間のせいでそんな風になってしまふのを私は初めて知り、自然と生き物はつながっていて、これからも美しい自然を絶対にこわさないようにしなければいけない、と思いました。

そして、世界自然遺産のことと学びました。世界遺産は知っていましたけど、世界自然遺産のことは初めて聞きました。それは、屋久島・知床・白神山地が登録されていて、今年、小笠原も登録されました。その小笠原に行けたのは、とても運がいいなあと思っていました。また、ほかの自然遺産も行ってみたいです。話を聞いて、とても興味を持ちました。

次に学んだことは、仲間の大切さについてです。みんな、県もばらばらで、きつと、このクルーズでなければ会わなかったでしょう。そう思うと、



左から2番目が海司さん

そして将来、リーダーとしても参加したいと思っています。この学んだことと思いい出を胸に秘めながら生活していきます。

心に残った六日間

西本 未夢

八月十七日水曜日、見たこともない人たちとの船上での生活。私は、とてもみんなと楽しめました。私がこの六日間です。楽しく過ごせたこと、学んだことはたくさんあります。

まず一つ目は、ひなん訓練です。ひなん訓練では、ライフジャケットに似たものを着ましたが、それはとても着にくかったです。

二つ目は、ウミガメやイルカなどのことを学んだことです。イルカの特ちょうやウミガメの種類などを教わりました。

三つ目は、デッキランチです。外でバイキングのように食べるのは初めてでした。とても楽しかったです。

四つ目は、小笠原での活動です。私が一番に残ったのは、ライフセービングです。とても勉強になったなあと思えました。

五つ目は、大神山トレッキングです。小笠原の山を登って、自然をたくさん見つけました。自然クイズもしました。

六つ目は、デッキデザイナーです。テーブルマナーはとて

クルーズで出来た友達はとても大切で、今なら「一期一会」の意味も、ものすごく分かった気がします。今まで、あまり意識していなかった絆が芽生えたようでうれしかったです。協力して仲間と何かをやりとげるのは楽しかったし、あの仲間がいたから、このクルーズも楽しかったのかもしれない。

私は、このクルーズに参加して、大切なことをたくさん学びました。海のこと、仲間の大切さなど、数えきれないほど学んできたのです。そして、このクルーズにまた参加したいです。もっとたくさんさんのことを学びたいと思ったからです。